一般質問

今定例会では、16人の議員が一般質問を行いました。質問の中から、主なものの要旨を質問者順に掲載します。

一般質問とは、議案と関係なく市の行政事務の状況や将来に対する方針などをただすもので、定例会に限って行われます。

質問を希望する議員は、あらかじめ議長に対して質問事項を通告し、執行部は、質問に対し基本的な考え方や問題解決策について答弁します。

菊池　義人（市民クラブ未来）
市内公共施設の老朽化対策について

問　コミュニティセンター、西新宿会館、勤労青少年ホーム、農業者トレーニングセンターの建築からの経過年数は。

答　コミュニティセンターは44年、西新宿会館は41年、勤労青少年ホームは52年、農業者トレーニングセンターは39年です。

問　各施設の劣化状況と対策は。

答　直近3か年では、コミュニティセンター集会室及び農業者トレーニングセンター会議室の空調工事、勤労青少年ホームでの空調設備の修繕を実施しました。

問　各施設の今後の計画は。

答　コミュニティセンター、勤労青少年ホーム、農業者トレーニングセンターについては、令和12年度までに長寿命化を図る予定。今後の施設の在り方については、予算も含め関係部署と協議しながら検討します。

問　老人福祉センターの劣化状況と対策は。

答　電気設備、給排水設備では、経年劣化による修繕等が必要な状況がみられ、その都度対応してきました。過去3年間で空調機器、加圧給水ユニット、滅菌機倉庫、温水ボイラー減圧弁、灯油ポンプ及び配管、井戸水ポンプ配管の修繕工事を実施しました。

問　勤労青少年ホームなどは築52年と古いが今後大規模改修、建替え、施設をなくすなどについての結論は出ているか。

答　どの施設をどうするかは結論が出ていない状況です。

問　どの建物から長寿命化をしていくのか。

答　各施設をどのように管理していくか未確定のため、どの施設から長寿命化を図っていくのかは確定していません。

※ほかに、学校施設の修繕費について、入札制度について質問。

関根　守男（はすだ政和会）
公共施設の使用料について

問　経年劣化が進む公共施設の改修、豪雨や台風などの自然災害に備えた防災対策の強化等に財源が必要。自主財源の確保策として、市内の公共施設の使用料はどのように決めているか。

答　統一した基準はありません。現状はそれぞれの所管課が決めています。

問　施設の維持管理経費等が増えているが、現状をどうとらえているか。

答　各施設を設置してから、長期間見直しが行われていない現状に問題があると考えます。その解消方法を見出すことが課題です。

問　公共性や受益性の観点から統一基準を作成し、適正化すべきではないか。

答　自主財源の確保という観点に加え、受益者負担の原則、公平性を確保するため、近隣市町も含め類似する施設間で格差が大きく生じないように見直したいと考えています。

問　減額、免除に係る考えは。

答　子どもや障がいのあるかたなどへ配慮し、適用を判断したいと考えています。

問　新環境学習館の使用料等は。

答　新環境学習館は令和7年8月オープン予定です。組織改正に伴い4月から社会教育課所管となるため庁内で検討しています。

問　総合市民体育館の使用料等は。

答　現在、大規模改修及びサブアリーナ増築工事を行っています。施設の利用再開は、令和8年4月を予定しています。基本使用料等については、「蓮田市総合市民体育館運営等検討会議」の検討結果を踏まえ庁内で検討しています。

問　新施設の使用料等は統一基準を策定し料金を設定すべき。市の考えは。

答　蓮田市の公共施設の使用料については、見直しを行う時期に来ています。考え方、算定方法、減免や免除などを盛り込んだガイドラインのようなものを策定することが有効だと考えています。

関根　香織（はすだ政和会）
蓮田駅前のトイレ環境の整備について

問　東口トイレでは、トイレ設備の破損や汚損の被害が多数発生しているが、市の管理体制は。

答　多目的トイレの非常ボタンが使用された際の初動対応を警備会社に委託し、市は事後対応を担っています。

問　次年度に向けて、「蓮田駅東口トイレ呼出対応業務委託費」を増額しているが、委託内容の変更点は。

※質問・答弁内容は、質問者本人が要約したものを掲載しております。

答　現在の委託内容に加え、その他のトラブル（トイレの故障、水漏れ、機器の破損等）について、通報から一時的な対処まで警備会社が対応する予定です。

問　東口トイレでは、男性用と女性用を間違えて入ってしまう人を多く見かけるとの相談をいただいている。トイレマークの視認性向上を図ってはいかがか。

答　正面から見たときに右が男性用、左が女性用であることが分かりづらい状況です。今後、トイレマークの視認性を向上する方策を検討し、実施したいと考えています。

問　西口トイレの整備については、以前から要望しているが、令和5年3月議会以降の検討状況は。

答　令和6年3月にJR東日本に「旧駅舎跡地活用の検討の推進」を要望しています。また、旧駅舎跡地の検討において、「トイレの設置スペースを生み出せるのであれば、整備費用や維持管理費用などを市で負担することも検討する」とJR東日本に伝えました。引き続き、要望を続けていきます。

※ほかに、「持続可能な医療保険制度」をテーマに掲げ、「令和6年10月からの医薬品の自己負担の新たな仕組み」の周知・啓発を目的として質問。

蓮田駅東口トイレ（外観）

鈴木貴美子（公明党）

AED設置環境の整備について

問　緊急時に誰もが使用しやすい環境を整備するために、屋外用AED収納ボックスを「クラウドファンディング型ふるさと納税」の仕組みを活用して、設置するのはいかがか。

答　更新時期が令和8年7月のものが17台、令和9年7月のものが28台あります。契約更新時期に合わせて、AEDを屋外に設置する必要性も含め、適切な設置等の在り方や方法を研究の上、予算の確保をしていきます。

自転車運転の安全意識を高めることについて

問　令和6年11月1日から改正道路交通法が一部施行となり、携帯電話を使用しながら自転車を運転する「ながら運転」の罰則が強化され、「酒気帯び運転」についても罰則が新設された。市民への周知は。

答　関係機関・団体と協力しながら、周知・啓発に努めていきます。

RSウイルス感染症について

問　RSウイルスは一般的なウイルスで、2歳までのほとんどの子どもが感染する。現在特効薬がなく、高齢者が感染すると入院が長引いたり、退院後も再入院や在宅医療、施設でのケアが必要となるケースがある。基礎疾患があるかたや60歳以上の成人、特に高齢者は重症化しやすく、日常生活に影響する懸念がある。市民への周知は。

答　現在、市公式ホームページにおいて注意喚起をしていますが、今後は広報や地域包括支援センターを通して、周知・啓発をしていきます。

秦　邦雄（無会派）

中央公民館及び隣接する駐車場（現市営第一駐車場）について

問　駐車場の整備費用と国からの補助は。

答　整備費用は総額約1億5000万円で、このうち国からの交付金は2000万円でした。

問　今年度の駐車場運営経費（通常的なもの）と収入見込額は。

答　支出である歳出予算額は約501万円です。一方、収入は11月までの実績は約532万円（年換算すれば約798万円）です。

問　駐車料金減免の状況は。

答　11月末までの1時間減免が5535件で約106万円、2時間減免が193件で約7万円でした。

問　減免時間を各1時間延長した場合、増加する年間の減免額は。

答　仮の計算ですが、現行1時間は約170万円の増、同2時間は約6万円の増となります。

問　中央公民館の利用団体と利用者の状況は。

答　前年度上半期と今年度上半期との比較では、団体利用回数は1986件が1709件（13・9％減）に、延べ利用者数は1万8145人が1万6999人（6・3％減）となりました。なお、中央公民館の定期利用団体のうち駐車場有料化を理由に活動場所を他に移動したものが5団体あります。

問　第5次総合振興計画には「中央公民館駐車場にパーキングシステムを導入し、収益確保を検討します」とあり、同システムを導入しても中央公民館駐車場は存続するとしか読めないが。

答　国の交付金の交付条件でもある誰でも利用可能な有料市営駐車場として整備したものです。

問　中央公民館利用者の駐車場使用料の無料化や、少なくとも減免時間の延長を考えるべきでは。

答　供用開始から1年もたっていないことから、今後、収支や運営状況を見ながら研究していきます。

※ほかに、蓮田市独自のDXの推進につい

て、公共施設の使用料について質問。

武藤　康史（市民クラブ未来）
新型コロナワクチン接種について

問　レプリコンワクチンの安全性に疑問を呈する意見やワクチン接種と日本人の２０２２年の超過死亡数増加との因果関係を指摘する声もある。接種には慎重を期すよう市民に周知すべきでは。

答　さまざまな情報が錯綜していることは認識していて、市民に適正に情報提供を行うとともに、皆さんの迷いや不安に寄り添い市民が慎重に判断できるよう促していきます。

問　市としてはワクチン接種について否定も推奨もしないということで良いか。

答　市は法に基づき、希望する市民がワクチンを接種できる体制を整えるという立場です。

令和７年度に実施する事業について

問　市財政の健全性と市民の幸福とのトレードオフ（両立できないこと）についての考え方は。

答　起債しなければ財政指標はよくなる一方、市民サービスの向上が見込めず市民の幸福度が上がらないと考えられますが、財政指数にかかわらず必要な事業は起債してでも実施する考えです。

問　これまでの市政の結果、財政の健全性は好転する一方で市民の幸福が実現されなかったと考える。次年度15億円規模の起債で財源を確保し、学校や公共施設の設備改善などを一気に実現する積極財政を行うことについて、市長の考えは。

答　積極財政の考えは分かるが、決算ベースで財政指標は変わってくるものであり適債性や交付金の確保などを見極めながら、市民の幸福につながる総合振興計画に定めた事業をしっかりやっていくという考えです。

問　ＰＰＰ／ＰＦＩの活用につなげるため民間提案の窓口を設置する考えは。

答　令和７年度において、その予定はありません。

山田　孝夫（公明党）
シニア食堂について

問　認識と期待できる効果は。

答　「シニア食堂」は、シニアの孤立防止と生活の質の向上を目的としています。みんなで談笑しながら楽しく食事をすることで、身体の健康のみならず、孤独感の解消や幸福感を得られる効果が期待できると考えます。

問　どのような支援が可能か。

答　「はすっこ食堂」、「おたすけこども食堂・おとな食堂」については、市のホームページ・広報紙や、高齢者向けの情報誌「高齢者いきいきマップ」への掲載などで、周知を行っています。

eスポーツ推進の取り組みについて

問　eスポーツの有効性については。

答　eスポーツには認知機能の改善やフレイル予防となる社会参加の機会創設などの有効性が期待できます。

　eスポーツは障がいのあるかたも参加しやすく、健常者の競技者と交流したり、チームを組んで競技に参加したりすることで、障がい者の社会参画につながっていくことも考えられます。

問　フレイル予防、障がい者スポーツ、教育現場での活用、世代間交流、さらにはeスポーツ大会の蓮田市への誘致によるシティセールス等、多くの可能性を秘めている。eスポーツの認識と導入について山口市長の所見を伺う。

答　今秋、白岡市で開催されたeスポーツ大会に参加し、その盛況ぶりに驚きました。eスポーツは高齢者等さまざまなかたの居場所づくりのツールになると考えます。特にシティセールスとして有効と捉えていて、イベントの開催などは、市の主催というより商工会、観光協会による開催がよいのではと感じています。

諸根　善昭（日本共産党）
公共サービスの質を確保する社会的に適正な入札制度を

問　市長公用車を運行する自動車運転業務委託について、異常に低い価格で落札・契約した経過は。

答　最低制限価格なしで実施した入札で予定価格税抜き５３５万２０００円に対し、応札した２社のうち２万３６００円で応札した業者が落札したものです。

問　社会通念上も異常だ。業務委託全般に最低制限価格制度を広げるべきと考えるがどうか。

答　事業者と市民、双方の利益を総合的に勘案したうえで、検討を進めます。

問　入札や契約の適正化に向けての新たな取り組みは。

答　「週休２日制モデル工事」「全体スライド条項、インフレスライド条項の適用に関する基準」「中間前金払制度」の導入を実施します。

子どもの健康を守るために重すぎるランドセル問題の解決促進を

問　重すぎるランドセルの子どもへの影響をどうとらえているか。

答　さまざまな要因で子どもたちの携行品の量が増えており、子どもたちの心身の負担になることもあるととらえています。

※質問・答弁内容は、質問者本人が要約したものを掲載しております。

問　その改善を求めた文科省の事務連絡（２０１８年９月６日）をどのように受け止め周知したか。

答　改めて携行品を精査すべきと受け止め、各校に文書と口頭で周知しました。いわゆる「置き勉」を認めている教科は。

問　多くの小学校で国語・算数以外の教科を指定しています。ランドセル症候群についての認識は共有されているのか。

答　携行品の過重が与える影響についての懸念は共有していて、携行品の見直しについて対応しています。

木佐木照男（新風会）
生活道路及び農道について

問　道路拡幅や舗装に関する現在の受付済み地域要望書の件数は。

答　蓮田地区25件、平野地区21件、黒浜地区27件となっています。

問　課題は。

答　事業着手までに長い間待っていただいている地域が多く、いかに効率よく事業を進め、早期に完了させられるかが大きな課題と考えています。

問　今後の対応は。

答　まずは現在手がけている改良整備を優先した上で、可能な限り効率的に事業を進めたいと考えています。

問　市道２７６号線の拡幅整備について、現地調査の状況は。

答　隣接するほ場や樹園地など農道の大部分が耕作放棄地となっていて、多くは雑草が繁茂していることから、長期間営農されていないものと推察されます。

問　今後の対応は。

答　市道２７６号線に隣接する農地は、現状農地として活用されていないため、仮に農道の整備を行ったとしても生産性の向上が見込めない状況であり、拡幅整備の事業化については当面困難なものと考えます。

市道 276 号線

住まいの耐震化について

問　現状は。

答　建築物の敷地・構造・設備及び用途に関する最低基準を定める建築基準法は昭和25年に制定されたもので、その中の耐震基準は大きな地震が起こるたびに被害状況等を検証しながら、これまで幾度も見直しされてきました。

問　住宅の耐震化率は。

答　令和元年度における蓮田市内の住宅の耐震化率は約97・1％となっています。

問　現状の支援策は。

答　一般の住宅に対して、耐震診断、耐震改修を促進させるための補助事業を実施しています。

高橋健一郎（公明党）
東北自動車道の人道橋建設について

問　宿浦橋、桜ヶ丘橋建設の計画と課題を伺う。

答　宿浦橋は、東京側に張り出し方式で人道橋を施工します。歩道幅員を現在の１ｍから２ｍにし、車道と歩道の間に防護柵を設置します。桜ヶ丘橋は歩道がなく、東京側に幅員２ｍの張出し方式で人道橋の施工を計画しています。安全対策等の多くの課題があり、ネクスコ東日本と協議を行い、一つ一つ解決しながら着実に事業を進めていきます。

選挙投票率向上について

問　市内の衆議院選挙で前回２０２１年、今回２０２４年の投票率を伺う。

答　２０２１年では小選挙区55・26％、比例区55・25％、２０２４年では小選挙区51・05％、比例区51・04％です。

問　移動式投票所の導入と投票所で配慮をしている点を伺う。

答　蓮田駅西口行政センターに新たに期日前投票所を設置してからは、市役所と２か所になり、利便性が向上しています。現状の投票所が極端に遠方にあるとは考えていませんが、移動式投票所は今後、調査研究に努めます。投票所では、コミュニケーションボード、車いす、拡大鏡、老眼鏡、点字器、文鎮、投票支援カード、投票用紙記入補助具を用意しています。

深田　康孝（日本共産党）
福祉総合相談体制の充実と縦割行政の克服を

問　令和６年４月に設置された福祉総合相談窓口の現状と課題は。

答　市民の「どこに相談すればよいのか分からない」「どうすれば解決するのか分からない」といった相談を受け止め、問題を整理し、解決に向けた総合的な支援調整を行う窓口であり、縦割りをなくしたチームによる支援を行うものです。課題は、子育て・介護を同時に抱える世帯や８０５０問題など、解決に時間を要するものが多いことです。

※質問・答弁内容は、質問者本人が要約したものを掲載しております。

問　アウトリーチ支援とは。

答　支援が必要であるにもかかわらず届いていない人に対して、行政や支援機関などが働きかけて早期発見・早期支援につなげていくものです。市でも福祉総合相談窓口や地域包括支援センターの専門員のほか関係機関の連携でアウトリーチ支援を行っています。

児童の立場から市の小学校教員の職場改善を

問　本市の教育現場では、教職員不足や不登校児童や個別支援が必要な児童が増えていることなどから、実態として土日・休日勤務、サービス残業があり、しっかりと児童に向き合う時間が取れていないとの教員からの声も聞いている。厳密な勤怠管理を行い本当に必要な教員の数を割出した上で、県や国に教職員の定数増を提言してはいかがか。

答　県や国に対しては、さまざまに要望しています。教員の枠を増やしても、教職員志望者がいない現状があり、大学には有望な学生の養成を依頼する一方で、志望者が増えるような魅力ある学校・職場作りをしていく必要があると考えています。

豊嶋　遥（はすだ政和会）
中学校制服について

問　冬服・夏服一式をそろえた場合の制服の価格は。

答　男子が5万5000円前後、女子が6万円前後になるとのことです。
ここ10年程度で制服の価格はどのように変化しているか。

問　男女とも1万円程度、価格が上昇している状況です。
現行の制服について、機能面で仕様の変更はあったか。

答　素材についてはストレッチ性や速乾性が向上しています。
モデルチェンジ・マイナーチェンジの状況は。

問　スカートに加えて新たにスラックスの導入を令和5年度から行いました。
スラックス導入時の具体的なプロセスは。

答　令和4年の初めに校長会を中心に、性の多様性と保護者の経済的な負担について配慮しながら現行の制服を生かすことを念頭に検討が始まりました。
各校長がPTA等から意見を聞きながら、令和5年4月からスラックスが選択できるようになりました。

問　蓮田市の未来を語る子ども議会にて子ども議員からもポロシャツの着用について提案があった。ポロシャツもスラックスと同様に、導入を検討してはいかがか。

答　着用時のマナーやルール等のメリット・デメリットについて、校長を中心として検討する必要があると考えています。
児童・生徒、保護者へ課題やニーズを把握するためにアンケートを実施してはいかがか。

答　校長会等でアンケートが必要と判断されれば、教育委員会として、校長と連携を図り対応します。
※ほかに、熱中症対策について質問。

山田慎太郎（はすだ政和会）
行政組織の改正に関して

問　目的と背景は。

答　第8次行政改革大綱の基本方針「多様な行政需要に対する対応力の向上」、多様化する地域課題や市民ニーズに、的確に対応ができるよう行政組織改正を行います。業務目的が重複している課、関連性の高い事業が複数存在する課、職員が欠けた場合に業務の維持が困難となる少人数の課、業務の範囲や量が1課で行っていく規模を超えつつある課が存在し、課の統合、分割を検討すべき状況でした。

問　変更となる部署・業務内容は。

答　部署については、総合政策部財政課と契約検査課を、契約財政課として統合。環境経済部農政課と商工課を、産業振興課として統合。健康福祉部長寿支援課と在宅医療介護課を、長寿支援課として統合。都市整備部都市計画課と産業団地整備課を、都市計画課として統合。健康福祉部福祉課を、福祉課と障がい者支援課に分割。消防本部消防課を、消防総務課と予防課に分割します。
業務内容については、既存業務を1つの課に統合する、2つの課に分割することと

議会の傍聴ができます

市議会の本会議は、一般に公開されていて、傍聴することができます。詳しくは議会事務局までお問い合わせください。

●傍聴心得について
傍聴に関しては受付で配布している傍聴人心得の記載事項をお守りください。

●車いすでの傍聴ができます
市議会の議場には、車いす用の傍聴スペースが用意してあります。

●手話通訳者について
議会を傍聴する際に、手話通訳者を希望されるかたは、事前に議会事務局までご連絡ください。

※質問・答弁内容は、質問者本人が要約したものを掲載しております。

なりますが、業務の内容等について変更する予定はありません。

問 業務効率化の具体的な内容は。

答 業務目的が重複している課は、統合で組織のスリム化を図ります。同時に市全体のDX化の推進なども含め業務効率の向上も図ります。特に事業が密接に関わる2つの課は統合し、事業遂行の推進力増加を図ります。

問 市民サービスへの影響は。

答 関連事業の一体推進、重複業務の整理などで、人件費等経費の削減につなげます。また、他の事業に削減した経費を充てることにより、さらなる市民サービスの向上を図ります。

問 市民への周知は。

答 広報はすだ、市ホームページに掲載します。市民が混乱を招くことがないよう周知を図っていきます。

近藤　純枝（はすだ政和会）
下水道事業について

問 浄化槽の保守点検、法定検査の実施率は。

答 令和5年度末現在ですが、単独処理浄化槽は保守点検60・5％、法定検査15・7％。合併処理浄化槽は保守点検78・6％、法定検査35・4％となっています。

問 法定検査の必要性と浄化槽維持管理の一括契約は。

答 法定検査は、浄化槽法で規定されている検査で1年に1回実施していただく必要があります。一括契約とは、保守点検業者もしくは清掃業者が浄化槽管理者の窓口となり、浄化槽維持管理の保守点検、清掃、法定検査の3つについて、ひとつの契約書で締結するものです。

問 法定検査実施者への補助はできないか。

答 補助等を行っている自治体が、実際にあることは認識しています。まずは、提案いただいた一括契約について、蓮田市でも導入できないか、模索しているところです。提案のような浄化槽使用者に対する補助制度などが可能かどうかについても、研究していきます。

公園の利用について

問 堂山公園トイレ新設の進捗状況、自然ゾーン・遊具ゾーンのすみわけは。

答 基礎工事、給排水設備の引き込み工事、本体工事と進め、令和7年3月の完成を目指しています。新たな遊具等を設置する際は、南側広場に設置し遊具などで楽しめるゾーン、中央から北側は樹木が繁り、野生動物が生息する自然を楽しめるゾーンとなるよう考えています。

問 公園の利用・魅力などについての情報発信は。

答 主にホームページで情報を公開していますが、文字のみで場所と遊具などの公園情報を表示しています。
今後は写真なども掲載し、わかりやすい情報となるよう努めていきます。

湯谷百合子（無会派）
国指定史跡黒浜貝塚の活用について

問 開所して1年半。多くの人に訪れていただくためには、「国指定史跡黒浜貝塚」の看板、入口や駐車場の案内、また黒浜貝塚のガイダンスセンターである「文化財展示館にまずお寄りください」等の案内が必要だが、どのように考えているか。

答 黒浜貝塚全体の活用について、黒浜貝塚保存活用委員会や関係部署に諮っていきたいと考えています。

堂山公園

問 令和3年12月議会で、蓮田の観光行政について質問した際、「蓮田市の観光の目玉は、黒浜貝塚」という答弁だった。入場は無料だが、観光化を図って自主財源を増やす取り組みが必要。黒浜貝塚を観光の目玉にする方策は。

答 十分観光の目玉になりうる施設と考えます。今後策定する黒浜貝塚保存活用計画の中に提案していきます。

障がい者就労支援事業所で作った物品を市役所で販売することについて

問 就労支援事業所の利用者の工賃は、自分たちが作った物の販売利益からのみ支給される。工賃を上げるための支援について、販売場所や時間を工夫できないか。

答 販売場所を玄関の近くに、また販売時間についても、事業所の声を聞いて積極的な支援をしていきたいと考えています。

学校体育館の空調設備導入について

問 国の補正予算の中の「総合経済対策」は、人命最優先のために避難所となる学校体育館のエアコン導入に補助金、光熱費は地方交付税で補てんするという。体育館エアコン導入はいつやるのか。今ではないか。

答 人命最優先は同じ気持ちです。国の動向を見ながら計画的に実施していきたいと考えています。
※ほかに、黒浜沼下沼の整備について質問。

※質問・答弁内容は、質問者本人が要約したものを掲載しております。

榎本　菜保（日本共産党）

小中学校体育館へ人にやさしいエアコン設置を

問　子どもたちの熱中症の危険回避や教育環境整備、また避難所としての役割から、小中学校体育館へのエアコン設置は急務。コストだけでなく、健康や環境面でも人にやさしいエアコンの導入が求められる。

輻射熱（遠赤外線）の原理を活用した「輻射式パネル」と、冷温風で温度を調節する「対流式エアコン」とのダブルの効果を生かした「ハイブリッド型」方式であれば、弱い気流または無風で競技への支障が少なく、ホコリやウイルスを巻き上げずに済み、温度ムラもなく範囲を絞って効率的に冷暖房ができる。パネルは無動力のため、電気代も安く済み、省エネである。国の補助金や有利な市債を活用し、導入してはいかがか。

答　ＳＤＧｓの観点から、提案を俎上に載せ検討します。

健康保険証の新規発行停止に伴う市民の混乱を防ぐために

問　12月2日、健康保険証の新規発行停止以降も、マイナ保険証に対しては混乱が続いている。更新時期が分かりにくいとの声があるが、市民にしっかり伝わっているのか。

答　カード自体の有効期限が発行から10回目（未成年は5回目）の誕生日であり、また中に含まれる電子証明書の有効期限は、年齢を問わず発行日から5回目の誕生日と2種類の更新があって分かりにくいため、周知方法など研究します。

問　マイナ保険証利用登録者のうち約8割以上が未利用。マイナ保険証有無に応じたQ&A形式の発信や、高齢者向けに紙媒体の「広報はすだ」での特集等、疑問や不安を解消する周知の工夫を求めるがいかがか。

答　分かりやすい説明と丁寧な周知に努める必要から、先進事例も踏まえ、関係各課と連携し検討します。

12月定例会傍聴状況

月　日	会　議	人数
11 / 27	本会議（開　会）	0
12 / 3	本会議（議案質疑）	1
12 / 4	委員会（総　務）	0
12 / 5	委員会（民生文教）	0
12 / 6	委員会（建設経済）	0
12 / 10	本会議（一般質問）	11
12 / 11	本会議（一般質問）	8
12 / 12	本会議（一般質問）	22
12 / 19	本会議（閉　会）	0
合　計		42人

3月定例会は2月19日(水)開会の予定です

第1回臨時会　会期1／17㈮

令和7年第1回臨時会が1月17日に開催され、市長から1議案が提出されました。採決の結果、総員で可決しました。

議案第1号　蓮田市一般会計補正予算（第6号）

住民税非課税世帯に対する支援

歳入歳出予算の総額に、歳入歳出それぞれ2億253万8000円を追加し、予算総額を245億4445万5000円とするものです。

内容は、国からの「物価高騰対応重点支援地方創生臨時交付金」に伴いエネルギー・食料品価格等物価高騰重点支援事業として物価高の影響を特に受ける住民税非課税世帯に支援金を早急に支給すると共に、同世帯における18歳以下の子どもに対し、加算して支援金を支給するものです。

令和７年第１回臨時会審議案件とその結果（個人別表決結果表）

○…賛成、×…反対、―…議長のため採決に加わらず

議員名下の（　）内は、所属会派名の略　（公）…公明党　（共）…日本共産党　（政）…はすだ政和会　（市）…市民クラブ未来　（風）…新風会　（会）…会派に所属しない議員

市長提出議案

番　号	件　名	議決結果	湯谷 百合子（会）	勝浦 敦（会）	高橋 健一郎（公）	山田 孝夫（公）	鈴木 貴美子（公）	関根 守 男（政）	豊嶋 遥（政）	山田 慎太郎（政）	武藤 康史（市）	齋藤 齊（市）	木佐木 照男（風）	榎本 菜保（共）	諸根 善昭（共）	深田 康孝（共）	近藤 純枝（政）	関根 香織（政）	齋藤 昌司（政）	秦 邦雄（会）	菊池 義人（市）	中里 幸一（風）
議案第１号	蓮田市一般会計補正予算（第６号）	原案可決	○	―	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○

※質問・答弁内容は、質問者本人が要約したものを掲載しております。